

これがオススメ! 読み聞かせ本

低学年

指導要領で読み聞かせが取り上げられて、読み聞かせについてのたくさん
の本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、
さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって
読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞か
せができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

おばあさんが、こなばこを
ごしごしかいて、やつと作っ
たおだんごぼんは、ころころ
転がって、うさぎに出会った
りおおかみに出会ったりしま
す。みんなから「ぱくつと食
べてあげよう」といわれます
が、「おまえなんかにつかまる
かい」と歌って逃げてしま
います。でもきつねに歌をほめ
られて調子に乗り、舌の上で
歌ったらぱくつと食べられて
しまいました。

り、逃げ出すと食べられず
ほっとしていました。おだん
ごぼんが歌うところでは、適
当に節をつけて歌いながら読
みました。最後の場面できつ
ねに食べられてしまっても、な
ぜか楽しそうにみんなでした。
さて、自閉症の女の子を受
け持ったとき、ひざの上にと
せて「おだんごぼん」を読ん
だことがあります。最後まで
静かに聞いてくれました。お
誕生日の子をひざの上のせ
て読んであげるといふ実践も
行われています。時にはこん
な読み聞かせもいかがでしょ
うか。



『おだんごぼん』

ロシア民話 瀬田貞二／訳 脇田和／絵
(福音館書店)